

平井 公也 (平成25年卒)

2021年7月から、理化学研究所の理研-IFOMがんゲノミクス連携研究チームで、ゲノムレベルでの発がんメカニズムを研究させていただいております。

理化学研究所は100年以上の歴史を持つ日本最大の科学研究所であり、国際協力を研究推進の大きな柱として、国内外の研究機関や大学と研究協力協定を結び、研究者交流や共同研究を行っております。私が所属する理研-IFOMがんゲノミクス連携研究チームは、横浜市鶴見区にあり、村川泰裕先生（京都大学 高等研究院ヒト生物学 高等研究拠点（ASHBi）教授）をチームリーダーとし、がんの発生・維持の根源的な分子メカニズムの解明を目指したオミックス解析を行っている研究室です。

この研究室で私は消化器領域の癌検体を用いて、理研が開発したCAGE（Cap Analysis of Gene Expression）解析とRNA-seq解析、近年の大きなトピックであるLong read RNA-seq解析を組み合わせることで、消化器癌における新規バイオマーカーの探索を行っております。研究室には京都大学のメンバーを中心に、国内外から様々なバックグラウンドをもつ研究者が集まっております。国際色豊かな研究室で、日々盛んに議論が行われております。学問に対する強い興味と研究に対する真摯な姿勢をもって、日々直面する課題に一つ一つ丁寧に向き合う姿や、世界の潮流の常に見据えてオリジナルで新規性のある研究を進めていく精神は非常に印象的であり、

その研究室の一員として国内外を問わず多くのプロジェクトに貢献できる貴重な機会をいただけたことに感謝しております。

理研での研究は来年度も続きますが、この留学で得た経験や技術を少しでも還元できるよう日々精進して参りますので、今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。

